

未来惨禍中心のヨハネ黙示録論議は、その核心を外してると見られる。それは神の名を借りた危険な行為だ。もっと原点基礎を回顧し、素直に読み説けば希望が見える。

ヨハネ黙示録の引用先：<http://www.wcsnet.or.jp/~m-kato/bible/revelati.htm>

新約聖書の中でも特異なヨハネ黙示録ほどに過去現在と世界で議論が絶えない物は無い。だが宗教の本来目的を念頭に黙示録内容を素朴に読み解けば極めて人間道德の原点中心(モーゼ十戒)を説いてる事が判る。余りにも未来惨禍予言に囚われた見方は邪道と見える。だが邪道が未来支配的ならば、邪道通りになる。要は人こそが未来を選択してるのです。

[1部-1章]：救済可能性<惨禍をもたらすは墮落腐敗背信の人間自身>。[1-2]は最終章。

ヨハネ黙示録の構成は人間未来の惨禍予言の時系列とも読めるのだが、そも誰が惨禍をもたらすのか？、それは腐敗墮落背信した人間自身の内から発してる。その冒頭証拠は

0103> **この預言の言葉を朗読する者と、これを聞いて、その中に書かれていることを守る者たちは、さいわいである。**時が近づいているからである。

0216> **だから、悔い改めなさい。**そうしないと、わたしはすぐにあなたがたのところに行き、わたしの口のつるぎをもって彼らと戦おう。

0319> **すべてわたしの愛している者を、わたしはしかったり、懲らしめたりする。だから、熱心になって悔い改めなさい。**

*前二ケタ太文字は黙示録の章番号、後ろ二ケタ細文字は節番号、下線やカラー文字は筆者加工。

黙示録も宗教本来の目的である人間救済を目指した物である。破滅を防ぐ意味で事前警告してるのだ。だから悔い改めよが反復されるのは必然でしょう。正にチェンジの勧めです。

1501> またわたしは、天に大いなる驚くべきほかのしるしを見た。七人の御使が、最後の七つの災害を携えていた。これらの災害で神の激しい怒りがその頂点に達するのである。

上記記述に見る如く、予言は神の怒りとして七人の御使が、最後の七つの災害を携えていたとある。だが神の怒りが何に起因してるのか。それは人間の腐敗墮落背信である。地上世界がもはや看過ならないからこそ、あの世からの神の出番としてのヨハネ啓示になる。この構造はイスラム伝道者＝ムハンマドの予言啓示時代状況も同じ。日本の日月神示でも**常国尊立**として、“神の同じ機構”を通じて、(危急各国)に預言者出現があるとします。

0319>の一言に救済への道一切が集約されてます。是は論理学からしても自明であり、過誤不正あれば秩序破綻と破滅、訂正修正懺悔すれば秩序永続と言う道理です。

[2部-1章]: 人類破滅=最後の審判と来世世界<黙示録予言の超現代性>。

第6章～第16章では将来人類に起こる災いの封印(予言)が解かれる。そこでは以下が見えるだろう。但し下記は過去歴史と現状科学データ(気候変動)-世界政治動向を勘案した筆者の情報を下地に黙示録から該当するであろう内容を選んだ。

- (1)生物兵器奇病エイズ(1602),
- (2)チェルノブイリ原発惨禍(0811), メキシコ湾石油流出(1603), HAARPと東北大震災(1502),
- (3)気候変動灼熱地獄と飢餓(1608, 1609, 1610, 1611, 1612, 1613),
- (4)世界最終戦争(ハルマゲドン:1614, 1615, 1616, 1617, 1618).

第17, 18章で人類腐敗墮落背信を象徴する大いなる都バビロンの秘密と裁きが明かされる。

- (5)1708> あなたの見た獣は、昔はいたが、今はおらず、そして、やがて底知れぬ所から上ってきて、ついには滅びに至るものである。
1718> あなたの見たかの女は、地の王たちを支配する大いなる都のことである。
- (6)1802> 彼は力強い声で叫んで言った、「倒れた、大いなるバビロンは倒れた。そして、それは悪魔の住む所、あらゆる汚れた霊の巣くつ、また、あらゆる汚れた憎むべき鳥の巣くつとなった。
1803> すべての国民は、彼女の姦淫に対する激しい怒りのぶどう酒を飲み、地の王たちは彼女と姦淫を行い、地上の商人たちは、彼女の極度のぜいたくによって富を得たからである」。
- (7)1819> 彼らは頭にちりをかぶり、泣き悲しんで叫ぶ、『ああ、わざわざ、この大いなる都は、わざわざ。そのおごりによって、海に船を持つすべての人が富を得ていたのに、この都も一瞬にして無に帰してしまった』。
- (8)1822> また、おまえの中では、立琴をひく者、歌を歌う者、笛を吹く者、ラッパを吹き鳴らす者の楽の音は全く聞かれず、あらゆる仕事の職人たちも全く姿を消し、また、ひきうすの音も、全く聞かれない。
1824> また、預言者や聖徒の血、さらに、地上で殺されたすべての者の血が、この都で流されたからである」。

1708>はかの国がサタン支配である事を暗示してる。問題のサタンに関しては以下。

<http://www.777true.net/slavejapan.pdf>

1803> 地上の商人たちは、彼女の極度のぜいたくによって富を得たからである。是は今までの米国と世界の通商関係を語ってます(当時としてはローマ帝国)。

1819>などは港湾都市ニューヨーク 9/11 双子タワ崩壊を彷彿とさせる光景描写です。

1822>これからの更なる米国不況を暗示してるのかもしれませんが。

1824>は米国帝国主義の犠牲国、南米中東アジアの民の嘆きであり、将来世界での大虐殺危険を警告する一級の内容です。但し“都”でなく現代では“都会国”の意味でしょう。

[2部-2章]: 人類破滅=最後の審判と来世世界。

ヨハネ黙示録第20, 21(22)章は19章までの要約としての終章を再構成してる。その冒頭はサタンの解放、諸国民の戦いへの追従と聖徒との最終戦争、それは天から火が下って終局、最後の審判を迎える。そして来世が語られています。

- 2001> またわたしが見ていると、ひとりの御使が、底知れぬ所のかぎと大きな鎖とを手にもって、天から降りてきた。彼は、
- 2002> 悪魔でありサタンである龍、すなわち、かの年を経たへびを捕らえて千年の間つなぎおき、
- 2003> そして、底知れぬ所に投げ込み、入口を閉じてその上に封印し、千年の期間が終わるまで、諸国民を惑わすことがないようにしておいた。その後、しばらくの間だけ解放されることになっていた。
- 2004> また見ていると、かず多くの座があり、その上に人人がすわっていた。そして、彼らにさばきの権が与えられていた。また、イエスのあかしをし神の言を伝えたために首を切られた人々の霊がそこにおり、また、獣をもその像おも拝まず、その刻印を額や手に受けることをしなかった人々がいた。彼らは生きかえって、キリストと共に千年の間、支配した。
- 2005> (それ以外の死人は、千年の期間が終わるまで生きかえらなかつた。)これが第一の復活である。
- 2006> この第一の復活にあずかる者は、さいわいな者であり、また聖なる者である。この人たちに対しては、第二の死はなんの力もない。彼らは神とキリストとの祭司となり、キリストと共に千年の間、支配する。
- 2007> 千年の期間が終わると、サタンはその獄から解放される。
- 2008> そして、出て行き、地の四方にいる諸国民、すなわちゴク、マゴクを惑わし、彼らを戦いのために召集する。その数は、海の砂のように多い。
- 2009> 彼らは地上の広いところに上ってきて、聖徒たちの陣営と愛されていた都とを包囲した。すると、天から火が下ってきて、彼らを焼き尽くした。
- 2012> また、死んでいた者が、大いなる者も小さき者も共に、御座の前に立っているのが見えた。かずかずの書物が開かれたが、もう一つの書物が開かれた。これはいのちの書であった。死人はそのしわざに応じ、この書物に書かれていることにしたがって、さばかれた。

21章では信仰を貫いた者が神と共にある来世を象徴してると思われる。現世の行いの勧善懲悪を徹底する意味が語られている。

- 2103> また、御座から大きな声が叫ぶのを聞いた、「見よ、神の幕屋が人と共にあり、神が人と共に住み、人は神の民となり、神自ら人と共にいまして、
- 2104> 人の目から涙を全くぬぐいとして下さる。もはや、死もなく、悲しみも、叫びも、痛みもない。先のが、すでに過ぎ去ったからである。
- 2105> すると、御座にいますかたが言われた、「見よ、わたしはすべてのものを新たにする。」また言われた、「書きしるせ。これらの言葉は、信ずべきであり、まことである。」
- 2106> そして、わたしに仰せられた、「事はすでになった。わたしは、アルパでありオメガである。初めであり、終わりである。かわいている者には、いのちの水の泉から働なしに飲ませよう。
- 2107> 勝利を得る者は、これらのものを受け継ぐであろう。わたしは彼の神となり、彼はわたしの子となる。
- 2108> しかし、おくびょうな者、信じない者、忌むべき者、人殺し、姦淫を行う者、まじないをする者、偶像を拝む者、すべて偽りを言う者には、火と硫黄の燃えている池が、彼らの受くべき報いである。これが第二の死である。

[2部-3章]: 人類破滅=最後の審判と来世世界<米国と黙示録現代世界>。

第17, 18章は普通に読んで意味が不明だが、バビロン=米国とすれば判然になる。

米国の現代役割と次の黙示録第20, 21章とのつながりで一つの人類予定史全貌が明らかに。

上記[2](1)(2)(3)(4)は全く人為的な惨事である。チェルノブイリ原発惨禍は技術事故でなく、実は地震破壊が原因、しかも人工地震標的可能性が東北大地震同様にあり。気候変動惨禍はアフリカ、オーストラリア等では既に現実で、現状趨勢ではこれから一層の加速が懸念されるが、是は明白な世界資本主義加速=石油大量消費での人為結果、戦争は無論、人為。実の所、是らは聖書を熟知する世界支配者の人類滅亡策陰謀である。その現代的な意味ではヨハネ予言は予言でなく、真意=神意を捻じ曲げた預言である事だ。

参考書(1): 神代康隆, 神の計画書黙示録大預言, 学研, 1983, 東京.

30年前の著作だが、むしろ現状に於いて一層その意義が認識される。その主旨は人類は特定グループ意図に従い、絶滅に向けられてると言う。状況証拠として人工細菌兵器エイズ、世界経済成長に付随する化学汚染、発癌物質を撒き散らす人類、そして地球温暖化進行、そしてヨハネ予言、ヒトラーとナチス、神の御使の終末使者=破滅押し進める人々の存在、だが肝心核心の何の為が良く判らない。世界支配者は黙示録を周知、だが何と解釈してるかはいささか不明。著者は本文末尾で人類には選択枝は一つしかないのかと指摘、読者の筆者も同感。

(2)判る説明(ドイツ光輝結社の無神論と王侯貴族資本主義エリート優生主義)。

参考書(2):A. Sutton & K Millegan, Fleshing out skull & bones, Trineday, LLC, 2003.

北田浩一訳, 闇の超世界権力、**スカル&ボーンズ**, 徳間書店, 2004。

世界には隠れ二大潮流がある。有神論と無神論、あるいは反ユダヤ主義。戦後日本等ではユダヤ陰謀論が広く流布されたが、是は真相無神論の国際右翼(王侯貴族資本の番犬)陰謀、世界最大右翼は米国 Rockfeller 家、彼らは有色人種国人口調整に熱心、それどころか人知れずアフリカで猛威を奮う AIDS は米国陸軍フォトデトリック研究所の産物である。そも核心は反ユダヤ-ゲルマン優生主義ナチス遺産を丸ごと引き継いだのが英国皇室縁戚に当るのブッシュ一族、彼らの関与したのがナチス勃興での資金提供と戦後の敗戦ナチス幹部と技術者を米国に密輸で CIA 創立。問題核心こそは彼らの“狂気思想”である。

(3)無神論と優生主義(最終淘汰戦争としての operation END game の原点思想)。

<http://www.777true.net/Mankind-destiny-anti-Christ.pdf>

:破滅必然のシナルキズム/1883年エール大學発祥のエリート秘密結社スカル&ボンズ。

1883年 W.H. ラッセル, アルフォンソ. タフト創設のエール大學**支配エリート結束組織**=秘密結社が**骸骨&骨**、彼らエリートの採用した公式世界観基礎が F.W. ヘーゲルの封建主義ドイツプロイセン支配者の御用哲学、

(a)国家(支配者)こそ絶対理性であり、国家国民に個人はなく、支配者手先になる事。

=国家国民(奴隷, 人間牧場²⁾)は支配エリート**優勢貴族**の搾取対象、

²⁾p384, ブントの実験心理学教室は科学的に人間の心を操作し、“家畜人間”にしてく学問。

(b)支配体制拡張路線として**正(味方)反(敵)合(闘争決着)**の歴史展開戦略としての弁証法。

敵を意図的に設定して**永久闘争路線**で内部引き締めと**覇権拡張主義**(欲望実現哲学)。

* 平和の時代は歴史ページの白紙, この退屈さは人間に相応しくない(ヘーゲル)。

(c)背景に反キリスト=悪魔崇拜主義としての**自己欲望実現**に最大価値を置く悪魔哲学。

手段を選ばない無法放埒の海賊哲学の肯定。人は支配すべき者と支配される者に二分

される<悪魔哲学>。資本主義の飾り窓国家米国は競っての自己欲望実現国家でもある。

人は死ねば唯の骨(無神論)、ならば生きてる間にやりたい放題(現世欲望実現)、....

—スカル&ボンズ結社ソング—

(d)(ユダヤ)キリスト教が隣人愛を解く教義に隠れて反抗、これが**ナチス**として実現。

(e)ユダヤ人 600 万人のガス室大量虐殺の現代黙示録性. ゲルマン優勢主義による有色人種

抹殺計画の走りがここに。気候変動危機最終段階も海が消える地球ガス室炎熱地獄。

(f)反復になるが要するに**唯我独尊哲学**、非常にエリート意識で誇り高く、**己誤謬を絶対に**

認めないから最後に破滅が待つ必然性が起こる。

(4)神が無ければ全てが許されるという海賊無法思想, ユダヤ人創始キリスト教では人間

原罪教義(悔い改めよ)を説くので自己中心傲慢不遜な人間は、その顕在潜在意識での

反感が起こる. 皮肉な事に有神論では神に殉じた者は最終救済に預かる<次[4]章>。

他方で無神論者では悪事やりたい放題でも来世地獄なしと思ってる。

(5)最終(生存闘争)作戦(operation END GAME).

<http://www.prisonplanet.com/>

(a)新世界秩序の為に世界政府が始動,一度彼らが地位に着くと世界人口 80%削減計画に従事できる、他方エリートはハイテクでの生き残り可能性を、聖戦映像家 Alex Jones が初めて明かす人間絶滅秘密計画。一見荒唐無稽、だがアフリカ等では気候変動大旱魃飢餓と米陸軍開発人工細菌兵器エイズの双方で現実には民族絶滅危機が進行、先進国報道はこの重大事実を無視!

(b)気候変動危機の一括全貌。

<http://www.777true.net/Whole-Looking-on-Climate-Crisis.pdf>

(6)真相は世界支配者の間違い現状権力体制護持<敗戦よりも革命が恐ろしい...近衛文麿>。

気候変動破滅こそが現代核心であり、現状世界資本主義体制は是を認めないのです。
貴族資本家等の高地位にある者が没落に面すると悪魔化が起こる<サタン起源>。
一般裕福市民でも没落に面すれば利己主義の手段を選ばず、道徳破綻も起こる。

(a)気候熱化破滅目前になぜ沈黙が一層,進行?(最後の審判=黙示録現代世界のカラクリ)。

<http://www.777true.net/Climate-Crisis-the-Final-Judgement.pdf>

(b)気候変動はわれ等惑星に何をもちたらず?。

<http://www.777true.net/What-will-climate-change-do-to-our-planet.pdf>

(c)アメリカの恐ろしい事実。

<http://eigokiji.cocolog-nifty.com/blog/2010/04/post-b3c2.html>

<http://americathegrimtruth.wordpress.com/>

(d)[2部-3章]の要約:

I:ヨハネ黙示録こそは腐敗墮落背信の人類へのきつい最終警告、目的は救済にある。

神は人間所業を先読みしてるのであり、人類には総懺悔が求められる。

II:人類は試されてる、悪魔誘惑に乗れば破滅地獄へ、他方、神の処方薬は非常に苦い。

III:ヨハネ黙示録で語られる惨禍は人類自身の所業結果である、天使がもちたらずは比喻。

IV:現代世界には神御使いを便乗偽装し、ヨハネ預言惨禍を陰謀する反神勢力がある。

V:現代的意味において惨禍核心=気候変動危機であり、それは資本主義体制護持として世界大衆的に公然公開とし、かつ隠蔽されてる<回避実効策が実働に無い>。

VI:それには問題の優生主義勢力が人類淘汰最終戦として陰謀されてる。

VII:彼らとそれに付き従う者がサタンであり、その最後は火と硫黄の火炎地獄(気候変動最終段階に科学的一致)。だからサタンとは生まれでは無く、行為(懺悔有無)が決める。

[1部-2章]: 救済可能性<結論: **過誤修正としての世界革命**>。

- 0103> **この預言の言葉を朗読する者と、これを聞いて、その中に書かれていることを守る者たちは、さいわいである。** 時が近づいているからである。
- 0216> **だから、悔い改めなさい。** そうしないと、わたしはすぐにあなたがたのところに行き、わたしの口のつるぎをもって彼らと戦おう。
- 0319> **すべてわたしの愛している者を、わたしはしかったり、懲らしめたりする。だから、熱心になって悔い改めなさい。**

以上は文字通りヨハネ黙示録の抜粋要綱、以下は筆者の見解。

- I : 産業革命(技術革新と資本主義体制化)以後が現代世界の気候変動破滅への道を開いた。故に救済は論理として**反産業革命=大自然(神への回帰)治癒回復**こそが仕事になる。
- II : 現状世界市民は目先マヤカシ物質文明享楽(資本主義過去栄光)への執着が解かれない。9/11と中東不正侵略等での真実正義は遠ざけられ、皆が利己主義の欺瞞で便乗してる。敵は国際独占資本家のみならず、彼らに依存生活する己自身内部にも巣くってる。革命には過去から将来への反応障壁を越える**強い動機=エネルギー**が必須になる事、
- III : 気候危機回避現実**は80%以上の炭素削減政策**、厳しい世界共同認識だけが救済可能。
- IV : 筆者観測では地球人全員が**世界気候変動対処軍兵**として今後の30~60年従軍しかない。彼ら仕事はまず自給自足目標で**食糧(住居)確保**、次に**炭素吸収大自然回復事業等**、....
- V : **地球軍司令部**{思想宗教文化, 科学分析, 技術立案, 施工管理(資金-人材)}の問題を解く。大問題解決への決断時間はさして無いと思われず。既成技術で可能です。一つ鍵は、人は食のみに生きるに在らず、省エネ中での文化的待遇の工夫ではないか。
- VI : **全地球ラマダン明けの"大いなる希望"を持ってしばしの苦境を共に生きる訳です。**

<http://www.777true.net/OPERATION-GLOBAL-RAMADAN.pdf>